

授業科目	*小児看護学演習				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21303J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP4-2			
担当教員	樋口 由貴子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>小児看護学概論や小児看護方法論、小児分野の疾病学各論で学んだ知識を基に、健康問題をもった子どもや家族に対する看護援助について事例学習を通して看護展開する。また、安全で安楽な援助を提供するために必要な基本的看護技術についての知識を理解し技術を習得する。これらを実務家教員として臨床現場での経験をいかし、具体的な例を挙げながら解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.健康障害をもった子どもや家族に対する看護援助について看護展開し、看護計画を立案できる。(DP1-2DP2-1DP4-2)</p> <p>1) 事例の疾患が理解できる。</p> <p>2) 事例の全体像を捉えることができる。</p> <p>3) 事例の成長発達段階を踏まえた療養生活上の問題が抽出できる。</p> <p>4) 事例の子どもと家族への援助が考えられる。</p> <p>2.子どもの基本的援助技術を用いるための知識、技術、態度を習得できる。(DP1-2DP2-1DP4-2)</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	20	10	50	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		5	10				15	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10	5	10	5			30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)	10		30	15			55	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
紙上の事例を用いて、看護過程を展開し、子どもの成長発達を踏まえ、子どもと家族を含めた個別性のある看護計画を立案し、説明できる。 子どもの基本的援助技術を用いるための知識、技術、態度を習得し、状況に応じて応用できる。				紙上の子どもの事例を用いて看護過程を展開し、標準的な看護計画を立案できる。 子どもの基本的援助技術を用いるための知識、技術、態度を習得できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:科目のオリエンテーションおよび健康障害をもった子どもの事例検討1(樋口由貴子) オリエンテーション後、事例紹介と今後の進め方について解説する。	教科書、PP、資料を用いた講義及び個人ワーク	事例についての疾病、症状、発達の特徴を見直し、遠隔授業での個人ワークを効果的に進められるように準備しておく	60
2	テーマ:事例検討2(樋口由貴子) 提示された事例についての疾患や情報の整理を行い、病態関連図の作成を行う。	教科書、PP、資料を用いた講義及び個人ワーク	復習:不足の資料を追加し、アセスメントを進める 予習:提示された事例についての疾患や情報の整理を行い、健康障害が児に与える影響についてのアセスメントを行う(後日アセスメント提出あり)	60
3	テーマ:事例検討3(樋口由貴子) 健康障害が児に与える影響についてアセスメントを一部学生が発表後、解説をする。	教科書、資料を用いた講義及び個人ワーク	復習:不足の資料を追加し、アセスメントを進める 予習:発達のアセスメントを行う(アセスメント提出あり)	60
4	テーマ:子どものケアに必要な看護技術1(樋口由貴子) 主に排泄、栄養などの技術について解説する。	教科書・PP・資料・DVD等を用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:テキスト、参考資料等に目を通しておく	60
5	テーマ:事例検討4(樋口由貴子) 発達のアセスメントを一部学生が発表後、解説をする。	教科書・PP・資料等を用いた講義、個人ワーク	復習:不足の資料を追加し、アセスメントを進めておく 予習:家族のアセスメントを行う(アセスメント提出あり)	60
6	テーマ:子どものケアに必要な看護技術2(樋口由貴子) 主に酸素化、検査などの援助について解説する	教科書・PP・資料・DVD等を用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返る 予習:テキスト、参考資料等に目を通しておく。資料等に目を通しておくこと。	60
7	テーマ:事例検討5(樋口由貴子) 家族のアセスメントを行う。 健康障害のある子どもと家族のアセスメントから看護問題を抽出する。	教科書・PP・資料等を用いた講義、個人ワーク	復習:不足の資料を追加し、アセスメントを進めておく	60
8	テーマ:子どものケアに必要な看護技術3(樋口由貴子) 主にバイタルサインの測定、身体計測、小児に起こりやすい事故について解説する。	教科書・PP・資料・DVD等を用いた講義	復習:本日の演習内容の振り返り 予習:次回技術演習にむけて授業・演習内容、配付資料、テキスト、参考資料等に目を通しておくこと	60
9	テーマ:小児看護技術演習1(樋口由貴子) バイタルサインの測定、計測など小児看護に必要な技術を、子どものモデル人形等を使って実施、理解する。	技術演習(DVD、デモンストレーションを含む)・課題学習	復習:本日実施した演習内容を教科書で復習し練習しておく 予習:次回授業にむけて提示された課題を行い、テキスト、参考資料等に目を通しておく	60
10	テーマ:小児看護技術演習2(樋口由貴子) バイタルサインの測定、計測、ベッド操作方法など小児看護に必要な技術を、子どものモデル人形等を使って実施、理解する。	技術演習(DVD、デモンストレーションを含む)・課題学習	復習:本日実施した演習内容を教科書で復習し練習しておく 予習:次回授業にむけて提示された課題を行い、テキスト、参考資料等に目を通しておく	60

11	テーマ:事例検討6(樋口由貴子) 事例の全体像を把握し、健康問題を導き出し、健康問題関連図を作成する。	教科書・PP・資料・DVD等を用いた講義、グループワーク	復習:本日の授業内容の振り返り、グループとして課題学習を進める	60
12	テーマ:事例検討7(樋口由貴子) 事例の看護計画を立てる。	教科書・PP・資料・DVD等を用いた講義、グループワーク	復習:本日の演習内容の振り返り、課題学習を進める	60
13	テーマ:事例検討の発表1(樋口由貴子) 5~10Gが発表する。	グループワーク発表	復習:これまでの内容の振り返り、後期実習の準備を進める。	30
14	テーマ:事例検討の発表2(樋口由貴子) 5~10Gが発表する。まとめ	グループワーク発表	復習:これまでの内容の振り返り、後期実習の準備を進める	20
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	健康障害をもった子どもと家族を理解し看護過程を展開するには、既習の専門教育科目(看護を学ぶための基礎、看護実践の基本)を十分に理解しておく必要があります。振り返り学習しておいてください。			
テキスト	中野綾美、ナーシンググラフィカ 小児看護学1 小児の発達と看護、メディカ出版、2020. 中野綾美、ナーシンググラフィカ 小児看護学2 小児看護技術、メディカ出版、2020.			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に適宜紹介します。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	演習に関しては事前学習を十分に行い、準備を万全にして演習に臨んで下さい。また前半は個人ワークを中心に進めるため、事前学習や復習をしっかりと授業に臨んでください。後半はグループワークを行う為、自分の意見や考えを準備し、グループワークに参加ください。この科目は、3年後期から開講する小児看護学実習に向けた基礎的な学びの総括として位置付けている科目ですので、疑問や不明な点などは、積極的に声を出してしっかり参加して学習を深めていってください。 講義後半はグループワークとしていますが、感染症流行状況によっては個人ワークに変更することがあります。
達成度評価に関するコメント	筆記試験、個人ワーク、課題学習、グループワークで評価します。 また、講義中の態度・参加度についても評価をします。